
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2010年第46週
(11月15日～11月21日)

- * 2010年11月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2010年10月)も掲載しています。

平成22(2010)年11月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2010年46週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							2
	結核	78	54	72	60	3,584	360	22,703
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2		11
	細菌性赤痢	2			2	80	3	215
	腸管出血性大腸菌感染症	3	1	2	3	327	36	3,953
	腸チフス	1	1	1	1	12	1	29
	パラチフス					5		20
四類	E型肝炎	1				8		53
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			3		44	2	327
	エキノコックス症					1		11
	黄熱							
	オウム病							9
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症				1	1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	19	179
	デング熱	4	1	2		65	3	224
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	1	109
	日本脳炎							3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1	1		2	28	3	66
	野兎病							
ライム病					1		12	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		3	
レジオネラ症	6	1	2	3	51	10	663	
レプトスピラ症					2		21	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	1	3	3	157	9	740
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)			1		42	2	187
	急性脳炎 *2					14	2	207
	クリプトスポリジウム症					3		17
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				12	2	143
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				18	2	106
	後天性免疫不全症候群	8	12	11	7	448	11	1,325
	ジアルジア症	1				13	3	74
	髄膜炎菌性髄膜炎							7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	3	4	1	153	4	545
	破傷風					5	2	94
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					12	3	101
	風しん					11	1	78
麻しん			1	1	68	2	417	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	—
2010/11/24集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 60件 肺結核37件、その他の結核22件、肺結核及びその他の結核1件で、推定感染地は国内58件、フィリピン1件、モンゴル1件、年齢は10歳代2件、20歳代6件、30歳代10件、40歳代5件、50歳代11件、60歳代10件、70歳代8件、80歳代8件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 菌種はどちらもソネ。推定感染地はインドネシア1件、ミャンマー1件で、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 3件 患者1件、無症状病原体保有者2件。血清型・毒素型はO157(VT2)1件、O157(VT1VT2)1件、O146(VT2)1件で、年齢は10歳代1件、20歳代2件であった。

腸チフス 1件 患者で年齢は10歳代。推定感染地はミャンマーで、推定感染経路はその他(不明)であった。

〈四類感染症〉

コクシジオイデス症 1件 20歳代で、推定感染地はアメリカ(カリフォルニア)であった。

マラリア 2件 四日熱マラリア1件、熱帯熱マラリア1件で、推定感染地はパプアニューギニア1件、インドネシア1件である。

レジオネラ症 3件 全て肺炎型で、年齢は50歳代1件、60歳代1件、70歳代1件。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は水系(銭湯)感染1件、水系及び塵埃感染1件、その他(不明)1件である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症1件。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は性的接触2件(異性間1件、性別不明1件)、その他(不明)1件であった。

後天性免疫不全症候群 7件 無症候キャリア5件、AIDS1件、その他1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代2件、30歳代1件、40歳代3件、AIDS患者の年齢は30歳代1件である。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間5件、異性間2件)であった。

梅毒 1件 無症候、推定感染地は国内、感染経路はその他(不明)であった。

麻しん 1件 麻しん(臨床診断例)で、年齢は50歳代、麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

定点把握対象疾患 報告数 2010年46週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		43週	44週	45週	46週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	70	53	60	39	0.27	147	150
	咽頭結膜熱	29	37	51	39	0.27		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	168	198	250	293	1.99		
	感染性胃腸炎	817	878	1,342	1,898	12.91		
	水痘	91	109	156	140	0.95		
	手足口病	68	65	72	34	0.23		
	伝染性紅斑	50	56	50	48	0.33		
	突発性発しん	85	71	64	72	0.49		
	百日咳	8	4	9	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	15	20	17	11	0.07		
	流行性耳下腺炎	59	66	82	71	0.48		
	不明発しん症(注1)	9	7	7	12	0.08		
MCLS(川崎病)(注1)	4	4	5	4	0.03			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	35	46	107	143	0.51	283	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	0	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	21	24	18	26	0.68		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	1	0	0.00	21	25
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	13	13	21	20	0.95		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	0.05		

2010/11/24集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は5週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。

(定点医療機関からのコメント)

- 中野区保健所管内定点医療機関
- ・RSウイルス感染症:今週もRSウイルスによる細気管支炎を診ました。
- 北区保健所管内定点医療機関
- ・感染性胃腸炎:増加していますが、まだ爆発的な増加とはいえません。
- 板橋区保健所管内定点医療機関
- ・感染性胃腸炎:1歳児、便培養にてクロストリディウム・ディフィシル菌と病原性大腸菌O25が同時検出された。

※ インフルエンザに関するコメントは13頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	6		1	15	1					
～11か月	10		2	113	9	3		28		
1歳	15	9	5	290	18	9	1	37		1
2歳	7	6	13	211	24	8	2	6		
3歳		5	19	208	22	4	8			1
4歳	1	8	31	194	19	5	6	1		3
5歳		2	49	167	9	3	7			1
6歳		2	47	145	19		6			1
7歳		1	36	110	10		6			
8歳		1	27	77	2	1	6			1
9歳		2	21	58	5		3			1
10～14歳		3	35	106	2		3			
15～19歳			2	24						
20～29歳			5	180		1			2	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	39	39	293	1898	140	34	48	72	2	11
先週比	-21	-12	43	556	-16	-38	-2	8	-7	-6

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月	1	2		1		
1歳	3	2	1	1		
2歳	2		1	4		
3歳	9	1	1	9		
4歳	8			20		1
5歳	13	1	1	11		1
6歳	8	1		12	1	
7歳	11			9		
8歳	5			12		
9歳	3			4		
10～14歳	7	2		14		1
15～19歳				6		
20～29歳	1	2		16		6
30～39歳				11		6
40～49歳				8		6
50～59歳				2		2
60～69歳				1		3
70～79歳						
80歳以上				2		
合計	71	12	4	143	1	26
先週比	-11	5	-1	36	1	8

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年46週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		1
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田		1	1	15						
中央区	1			28						1
みなと	2		8	105	5	1	1	6	1	
新宿区	2	6	13	40	2	1	1	1		
文京	1		5	17			2			
台東		3	3	49	2	1		2		
墨田区			4	13	4			5		
江東区		1	8	131	3	1	2	4		
品川区	1		12	99	7		1	2		
目黒区				23	1	2				
大田区	1	10	26	157	8	5	1	7	1	1
世田谷			14	92	8	5	11			1
渋谷区			1	38		1	1	1		
中野区	2		10	103	3	1	2	1		1
杉並			2	76	2		2	3		
池袋		1	3	21				1		
北区			4	62	2	1	1	3		
荒川区			4	19	3		1	1		
板橋区		2	3	41	2	1	1			
練馬区	2	1	6	53	6	1	3	3		1
足立			20	50	5	1		2		
葛飾区	1		4	49	6		6			1
江戸川	5		38	70	4		4	7		
八王子市	8	2	38	117	13		2	5		1
西多摩		1	1	43	8		1	1		
南多摩	1	2	11	50	2	4		5		2
町田		1	26	116	7	2		5		2
多摩立川			3	32	9	1	1	1		
多摩府中	4	1	13	73	11	4	3	4		
多摩小平	8	7	12	116	17	1	1	2		
島しょ										

東京都合計	39	39	293	1,898	140	34	48	72	2	11
-------	----	----	-----	-------	-----	----	----	----	---	----

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年46週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				1		
中央区						1
みなと	4			5		
新宿区	6					1
文京	1			1		2
台東	1					
墨田区	1			17		
江東区	4	1		5		1
品川区		1		11		
目黒区	1					
大田区	2	1		1		1
世田谷	4			7		3
渋谷区	1			3		
中野区				8		2
杉並	2			5		1
池袋	1					
北区	1			6		
荒川区	3	1		13		1
板橋区		1		4		
練馬区		1		4		2
足立	3	1		2	1	1
葛飾区	3	1		1		1
江戸川	6			3		1
八王子市	5	1	1	12		3
西多摩	4		2			1
南多摩	6			7		
町田	2	3		2		
多摩立川	1			1		
多摩府中	2		1	7		
多摩小平	5			17		4
島しょ	2					

東京都合計	71	12	4	143	1	26
-------	----	----	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		1
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	1
-------	---	---

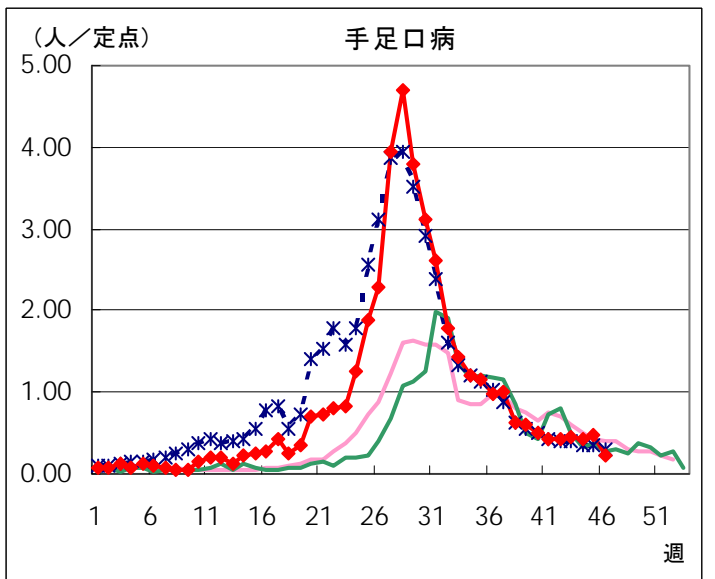
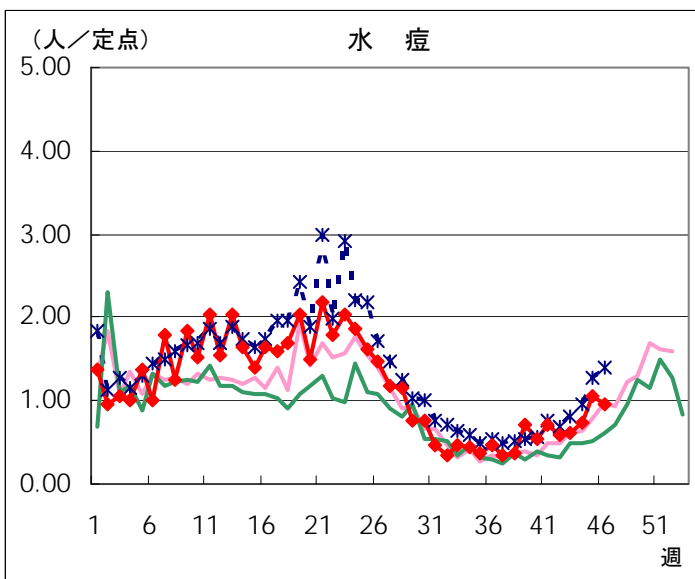
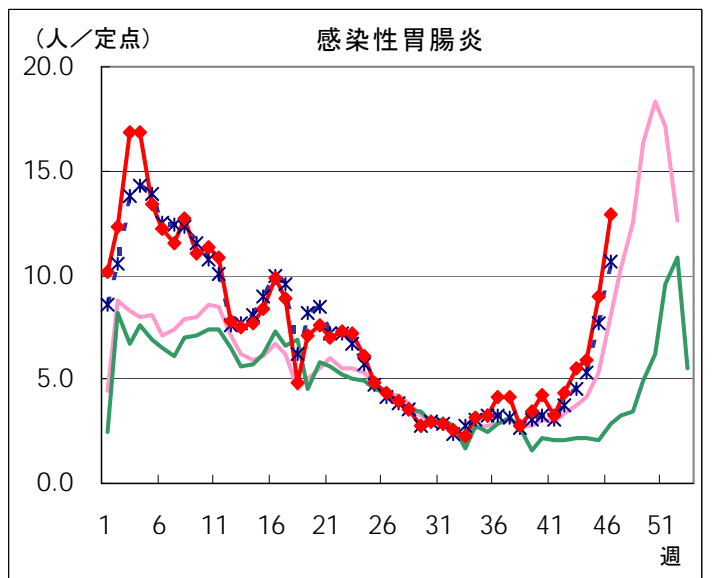
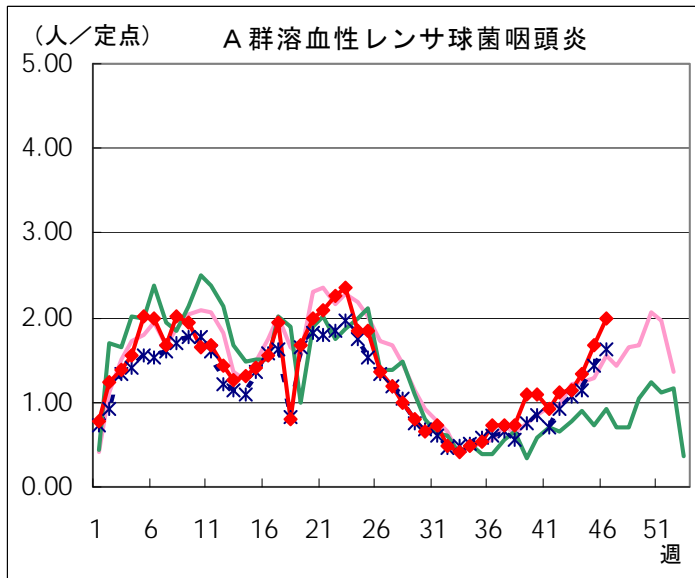
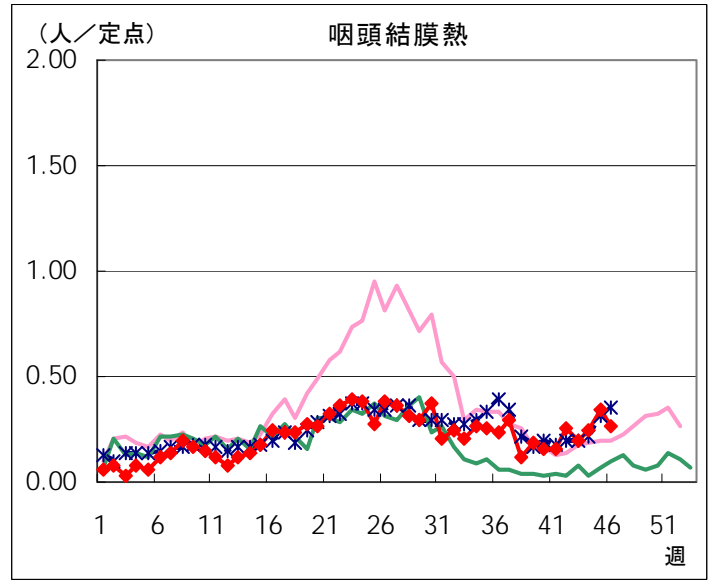
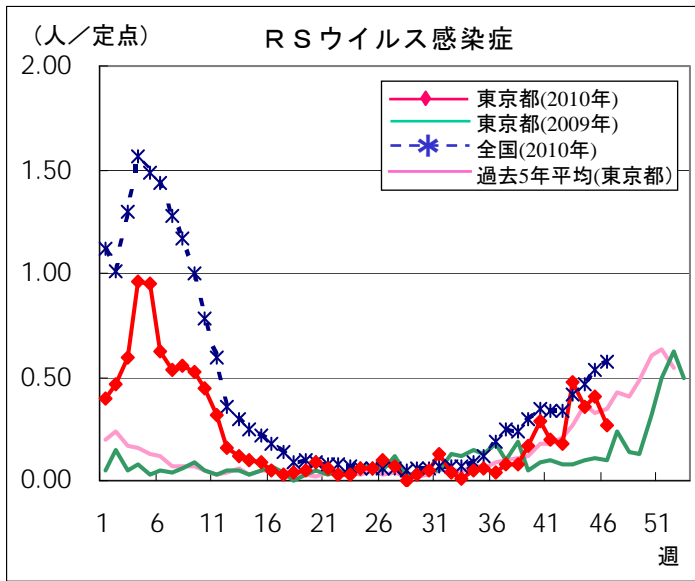
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年46週

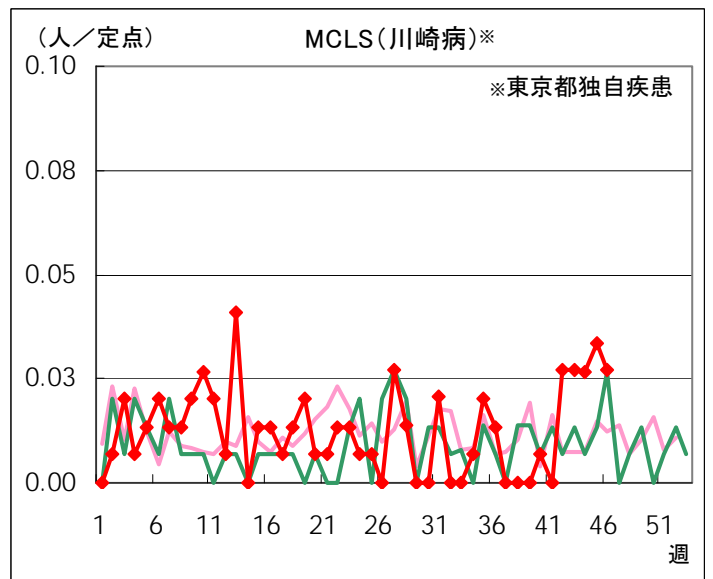
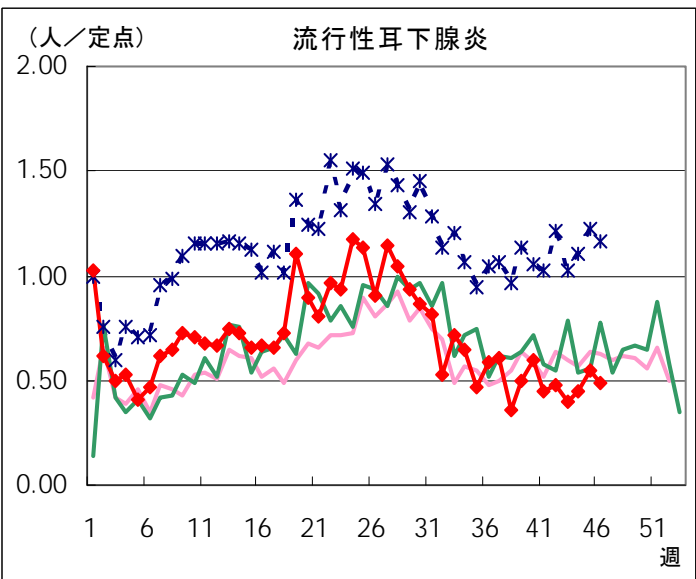
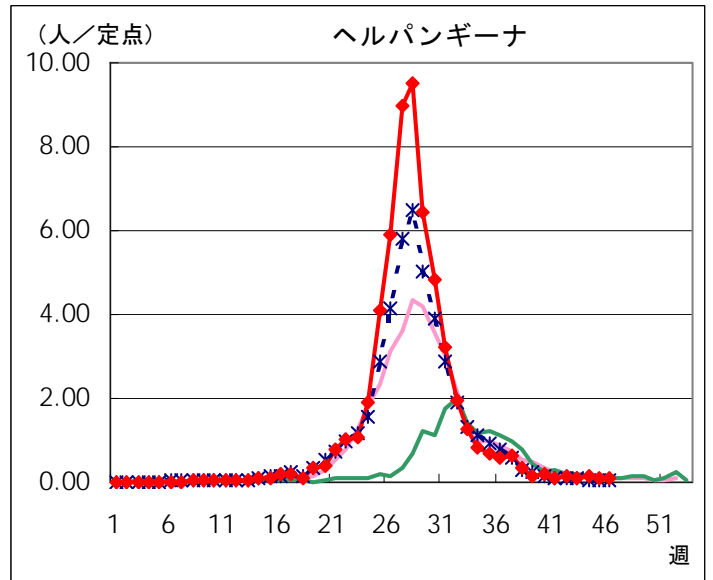
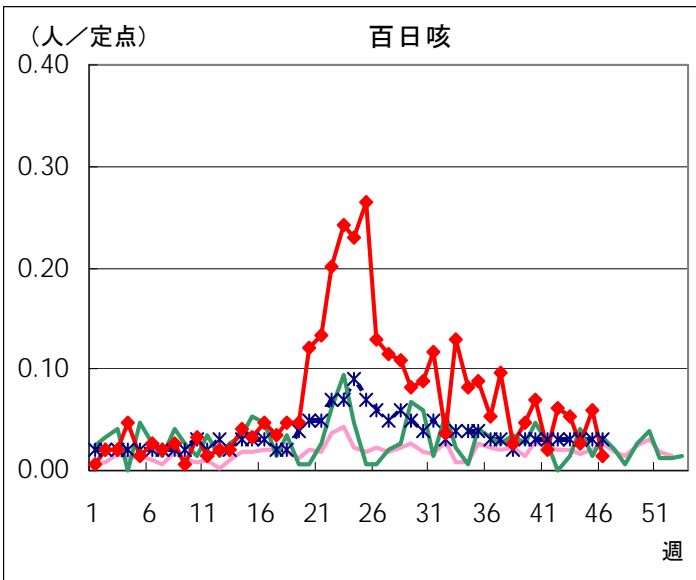
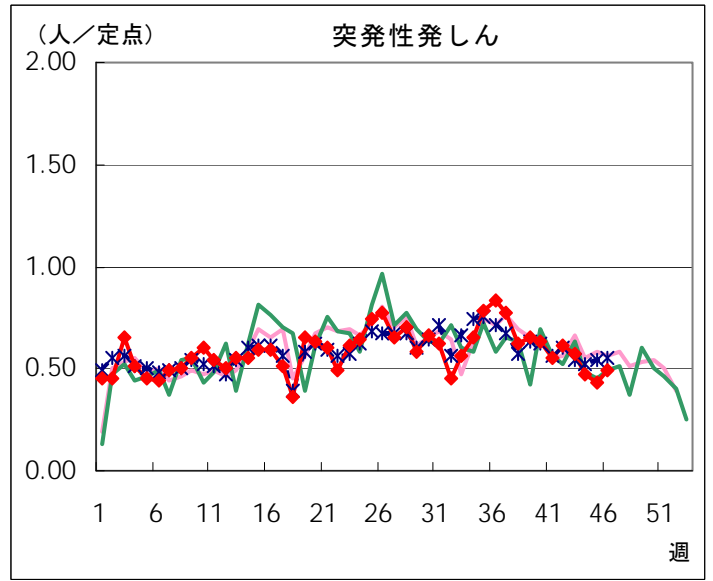
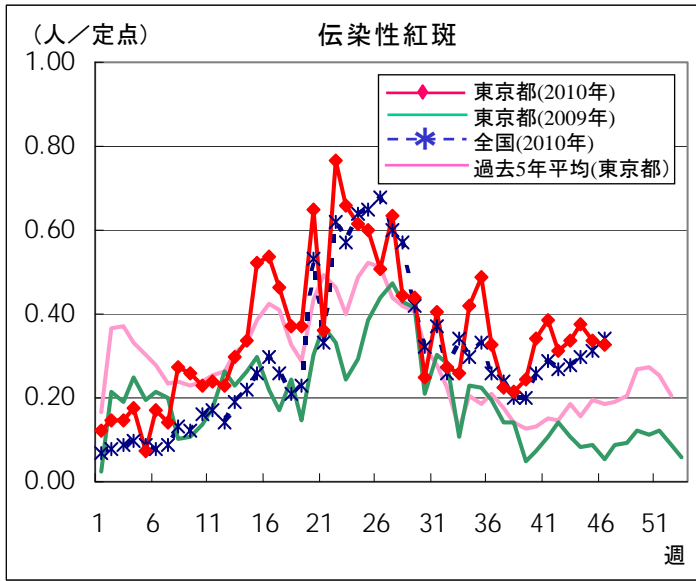
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田		0.33	0.33	5.00						
中央区	0.33			9.33						0.33
みなと	0.33		1.33	17.50	0.83	0.17	0.17	1.00	0.17	
新宿区	0.33	1.00	2.17	6.67	0.33	0.17	0.17	0.17		
文京	0.33		1.67	5.67			0.67			
台東		1.00	1.00	16.33	0.67	0.33		0.67		
墨田区			1.33	4.33	1.33			1.67		
江東区		0.25	2.00	32.75	0.75	0.25	0.50	1.00		
品川区	0.17		2.00	16.50	1.17		0.17	0.33		
目黒区				7.67	0.33	0.67				
大田区	0.11	1.11	2.89	17.44	0.89	0.56	0.11	0.78	0.11	0.11
世田谷			1.75	11.50	1.00	0.63	1.38			0.13
渋谷区			0.25	9.50		0.25	0.25	0.25		
中野区	0.33		1.67	17.17	0.50	0.17	0.33	0.17		0.17
杉並			0.33	12.67	0.33		0.33	0.50		
池袋		0.25	0.75	5.25				0.25		
北区			1.00	15.50	0.50	0.25	0.25	0.75		
荒川区			2.00	9.50	1.50		0.50	0.50		
板橋区		0.33	0.50	6.83	0.33	0.17	0.17			
練馬区	0.40	0.20	1.20	10.60	1.20	0.20	0.60	0.60		0.20
足立			4.00	10.00	1.00	0.20		0.40		
葛飾区	0.25		1.00	12.25	1.50		1.50			0.25
江戸川	1.25		9.50	17.50	1.00		1.00	1.75		
八王子市	2.00	0.50	9.50	29.25	3.25		0.50	1.25		0.25
西多摩		0.20	0.20	8.60	1.60		0.20	0.20		
南多摩	0.25	0.50	2.75	12.50	0.50	1.00		1.25		0.50
町田		0.25	6.50	29.00	1.75	0.50		1.25		0.50
多摩立川			0.50	5.33	1.50	0.17	0.17	0.17		
多摩府中	0.40	0.10	1.30	7.30	1.10	0.40	0.30	0.40		
多摩小平	1.33	1.17	2.00	19.33	2.83	0.17	0.17	0.33		
島しょ										
東京都	0.27	0.27	1.99	12.91	0.95	0.23	0.33	0.49	0.01	0.07

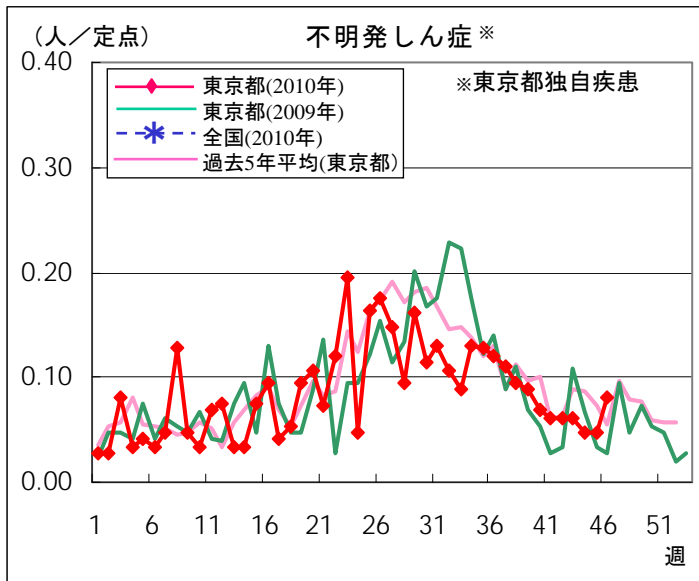
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.25		
中央区						1.00
みなと	0.67			0.63		
新宿区	1.00					0.50
文京	0.33			0.20		2.00
台東	0.33					
墨田区	0.33			2.83		
江東区	1.00	0.25		0.56		1.00
品川区		0.17		1.10		
目黒区	0.33					
大田区	0.22	0.11		0.07		0.50
世田谷	0.50			0.44		3.00
渋谷区	0.25			0.50		
中野区				0.89		2.00
杉並	0.33			0.42		1.00
池袋	0.25					
北区	0.25			0.86		
荒川区	1.50	0.50		3.25		1.00
板橋区		0.17		0.33		
練馬区		0.20		0.33		1.00
足立	0.60	0.20		0.17	0.50	0.50
葛飾区	0.75	0.25		0.11		1.00
江戸川	1.50			0.27		0.50
八王子市	1.25	0.25	0.25	1.20		1.50
西多摩	0.80		0.40			1.00
南多摩	1.50			0.78		
町田	0.50	0.75		0.22		
多摩立川	0.17			0.08		
多摩府中	0.20		0.10	0.35		
多摩小平	0.83			1.21		2.00
島しょ	2.00					
東京都	0.48	0.08	0.03	0.51	0.03	0.68

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年46週現在

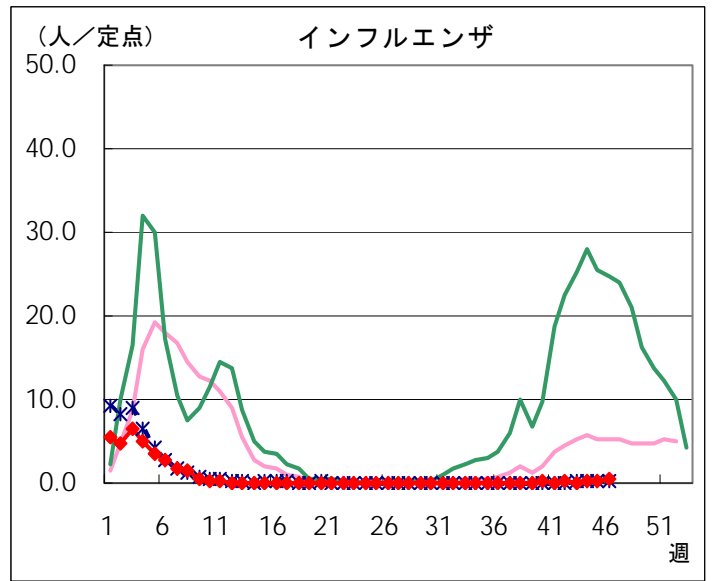
◆ 小児科定点



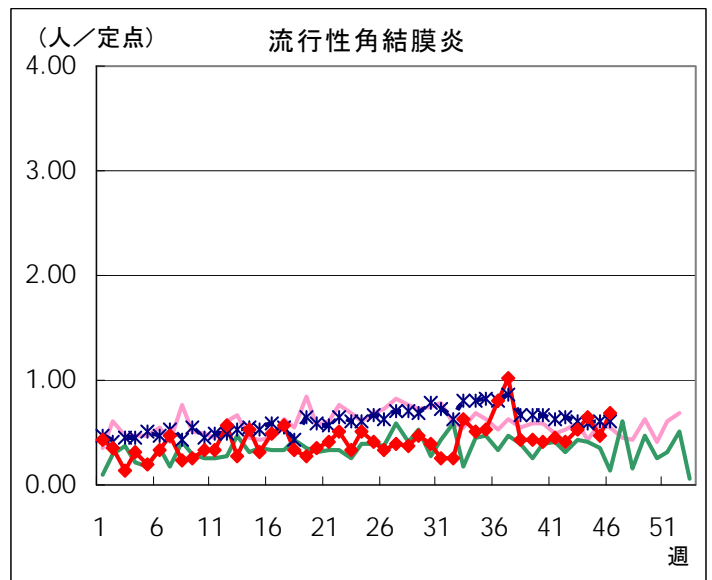
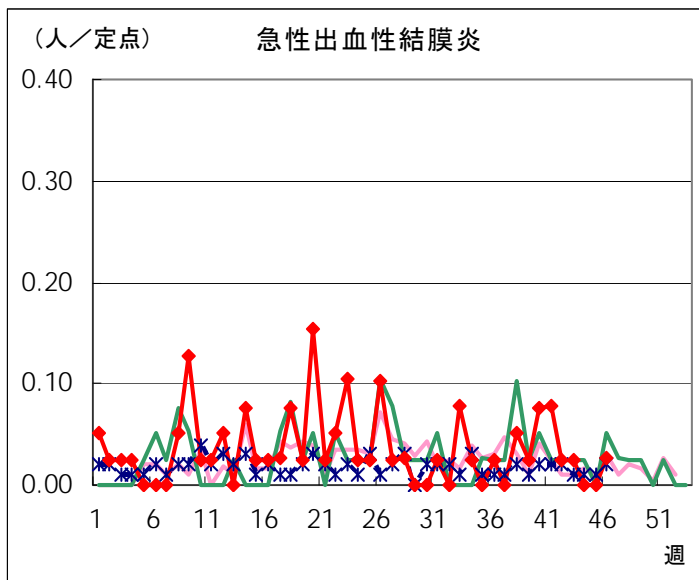




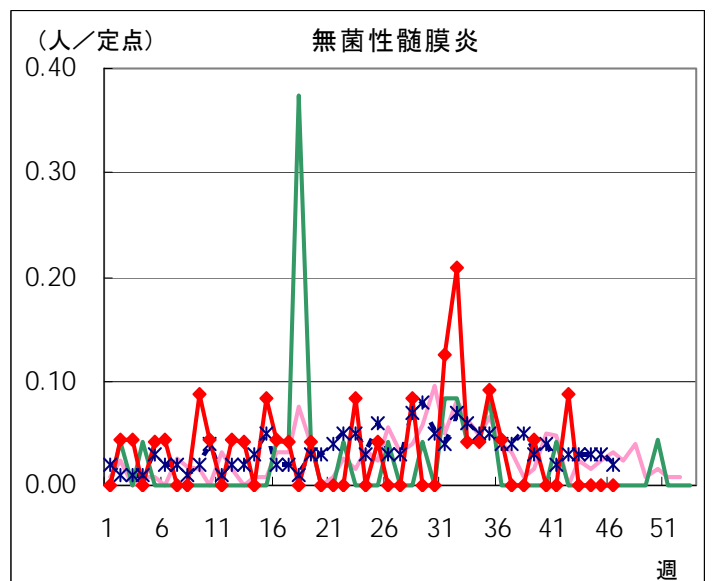
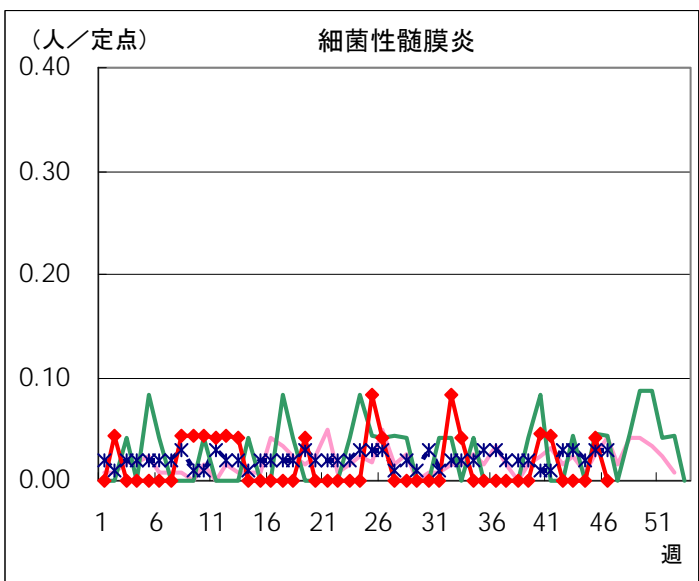
◆ インフルエンザ定点

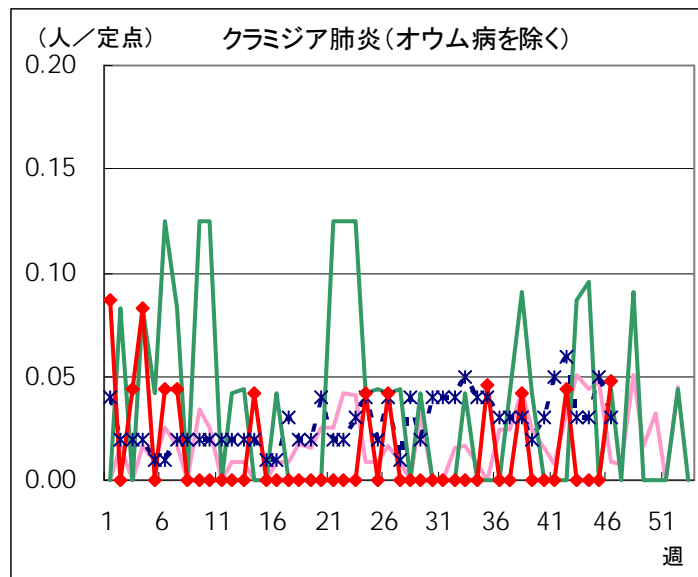
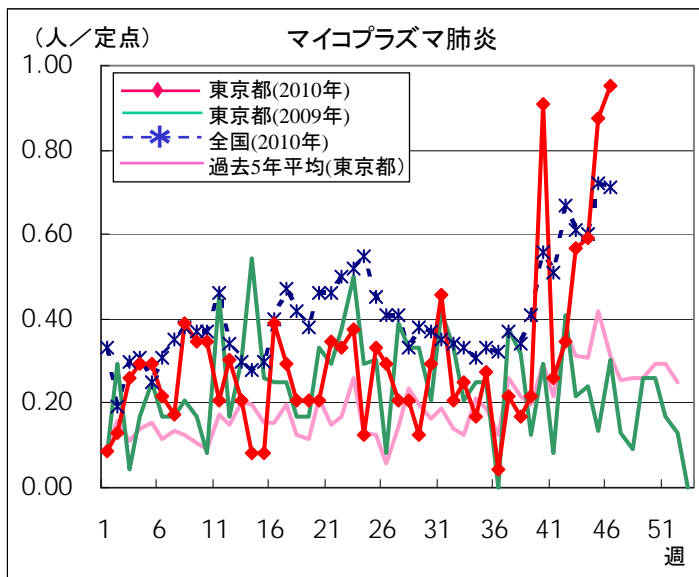


◆ 眼科定点

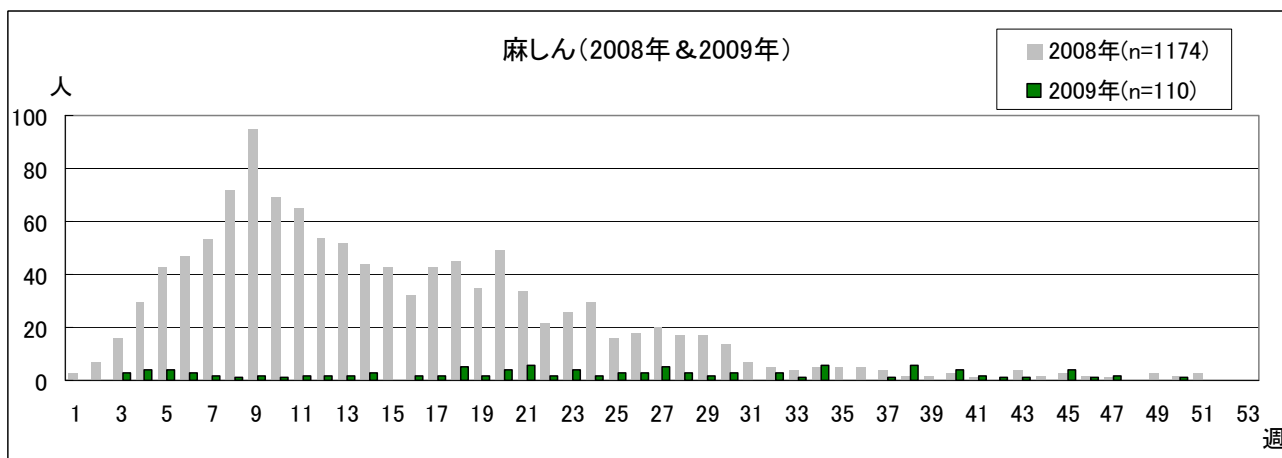
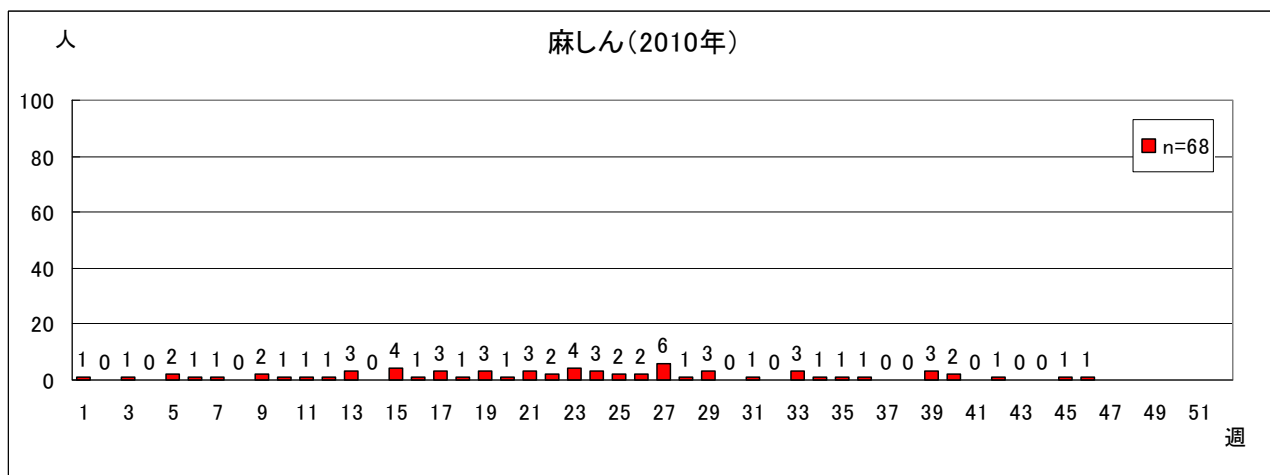


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年46週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
江東区		4	
品川区	3		
	2		
	1		
	1		
大田区	1		
渋谷区	1		
		1	
中野区	3		同じ保育園の同じクラスです。
	5		
北区	2		
	記載なし	記載なし	木～金に区内小学生の受診がありました(4名)。まだ局地的ですが、広域に拡大する前兆かもしれません。
荒川区		12	B型が多い。
	1		
南多摩	3	1	
	1		
	記載なし	記載なし	都外に通学の学生とその家族
多摩小平	1		
	記載なし	記載なし	社会福祉施設での発症1名
	1		

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/18	百日咳	4	後鼻腔拭い液	百日咳菌	遺伝子 分離同定
				メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (コアグラーゼ: VII型) 感受性は①参照	遺伝子 分離同定 薬剤感受性
10/18	鼻咽頭炎・百日咳	7M	後鼻腔拭い液	百日咳菌	遺伝子 分離同定
				メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (コアグラーゼ: V型) 感受性は②参照	遺伝子 分離同定 薬剤感受性
10/19	肺炎	17	気管吸引液	<i>Candida albicans</i>	分離同定
				メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (コアグラーゼ: III型) 感受性は③参照	遺伝子 薬剤感受性
10/22	感染性胃腸炎	1	糞便	ライノウイルス、ノロウイルス	遺伝子
10/26	感染性胃腸炎	7M	糞便	ライノウイルス、ノロウイルス	
10/29	感染性胃腸炎	1	糞便	ライノウイルス	
10/30	デング熱 ※1	40	血液	デングウイルス2型	
11/4	記載なし	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/5	デング熱 ※2	30	血液	デングウイルス3型	
11/5	デング熱 ※2	34	血液	デングウイルス3型	
11/5	気管支喘息	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/5	肺炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/6	クループ性気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
11/6	ウイルス性細気管支炎	11M	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/8	発熱	0M	髄液	エンテロウイルス	
11/8	インフルエンザ	4	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3亜型 ※3 エンテロウイルス	
11/8	咽頭炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/8	肺炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/8	ウイルス性細気管支炎	2M	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/8	川崎病(MCLS)	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/9	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/9	流行性角結膜炎	41	結膜拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
11/9	髄膜炎	1M	髄液	エンテロウイルス	
11/9	気管支喘息	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
11/9	急性上気道炎	7	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
11/9	不明発しん症・急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/10	流行性角結膜炎	26	結膜拭い液	アデノウイルス	
11/10	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/11	多形滲出性紅斑	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/11	マイコプラズマ肺炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/11	急性気管支炎	5M	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
11/11	急性気管支炎	6M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/12	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

※1：44週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※2：45週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※3：下記「遺伝子検査法によるインフルエンザの亜型」の集計数に含まれる

薬剤感受性検査結果：メチシリン感受性黄色ブドウ球菌(①②)・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(③)

参照番号	CEZ	CTX	IPM	EM	CAM	GM	VCM	MINO	OFLX	ABPC	MPIPC
	セファンリン	セフトキシム	イミペネム	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	ゲンタマイシン	バンコマイシン	ミノサイクリン	オフロキサシン	アンピシリン	オキサシリン
①	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s	s
②	s	s	s	s	s	s	s	s	s	R	s
③	R	I	s	R	R	s	s	s	R	R	R

s:感性(感受性), I:中等度, R:耐性

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型*)
45週	0	8	0	2
2010-2011年 シーズン累計**	0	20	1	5

*：新型インフルエンザ(pandemic H1N1 2009)。

**：2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
ウイルス	アデノウイルス	5	3	5		1	3	2	10
	ライノウイルス	3	6	2	5		2	8	10
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	13	13	8	8	6	11	3	3
	単純ヘルペスウイルス		2	1					1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	8	3	2	1	5	2	2	2
	EBウイルス	2	2	2	2	4	1	1	
	サイトメガロウイルス	1	2					1	
	ムンプスウイルス	2				1	3	1	
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	3				2	2	1	
	RSウイルス	1	3		3	2	5	3	7
	ノロウイルス			1	1	1	3		2
	ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3			2		4	2	3	8	
インフルエンザウイルスB			1						
新型インフルエンザウイルスAH1pdm		1				1		2	
デングウイルス(抗体を含む)		2	2					3	
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター				1				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳	3		1		3	1		2
	マイコプラズマ	2	3	3			2	3	
	その他の細菌	2		1		1	2		3
その他の病原体									1

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年38週～2010年45週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	31	55	111	32	21	8		9		6	6	30	9				104	
ウイルス	アデノウイルス	2	3	9	1		4	3				1					6	
	ライノウイルス		4	20	3						1	4	1				3	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	3	17	15	5	6	2			4		7					6	
	単純ヘルペスウイルス		3						1									
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7			1		1				2	1	16						4
	EBウイルス		1			1						2	3					7
	サイトメガロウイルス											3						1
	ムンプスウイルス					2								5				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											4	4					
	RSウイルス		3	19							1							1
	ノロウイルス				8													
	ロタウイルス																	
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3	19																
インフルエンザウイルスB	1																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	4																	
デングウイルス(抗体を含む)																	7	
その他のウイルス																		
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
	百日咳		1	8													1	
	マイコプラズマ			12													1	
	その他の細菌			8													1	
その他の病原体			1															

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2010年10月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	126	2.33	54	55
		女	101	1.87		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	70	1.30		
		女	36	0.67		
	尖圭コンジローマ	男	52	0.96		
		女	22	0.41		
	淋菌感染症	男	78	1.44		
		女	13	0.24		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	12	0.22		
梅毒様疾患	男	10	0.19			
	女	1	0.02			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	77	3.35	23	25
		女	39	1.70		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	29	1.26		
		女	20	0.87		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	2	0.09		

2010/11/18

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2010年10月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	4		1	1		
20～24歳	10	7	6	9		2
25～29歳	31	6	4	17		3
30～34歳	26	9	8	21		1
35～39歳	19	11	12	13		2
40～44歳	12	9	11	6		1
45～49歳	14	9	5	6		
50～54歳	5	5	2			
55～59歳	3	4	3	2		1
60～64歳	1	4		2		
65～69歳		2				
70歳～	1	4		1		
合計	126	70	52	78		10
先月数	113	53	51	91		8
増減数	13	17	1	-13		2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	11	3	2	4	1	
20～24歳	31	5	6	6	3	
25～29歳	29	7	6	2	1	
30～34歳	19	7	6	1	2	
35～39歳	5	7	1		1	
40～44歳	2	3				
45～49歳	2	1			3	
50～54歳			1			
55～59歳	2	1				
60～64歳						
65～69歳						1
70歳～		2			1	
合計	101	36	22	13	12	1
先月数	81	39	21	14	12	
増減数	20	-3	1	-1		1

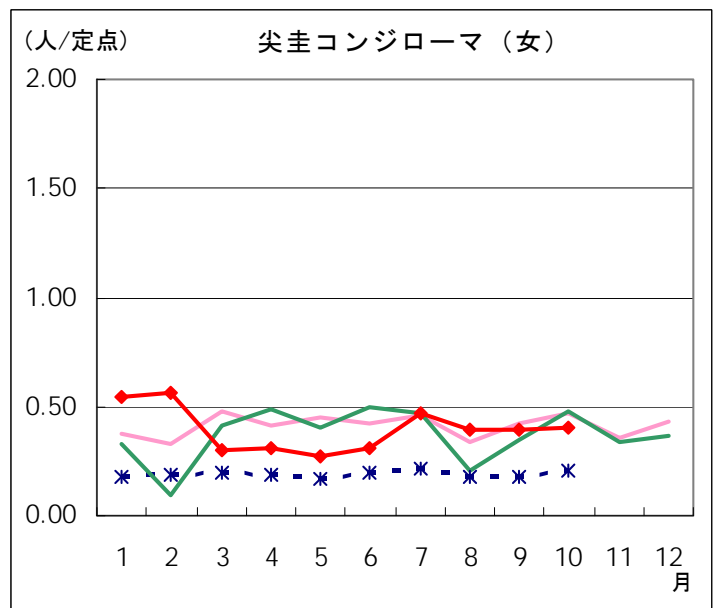
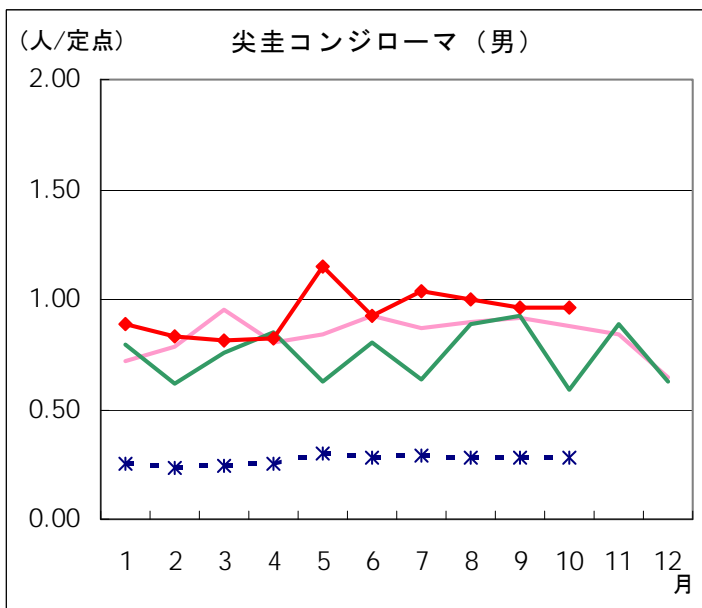
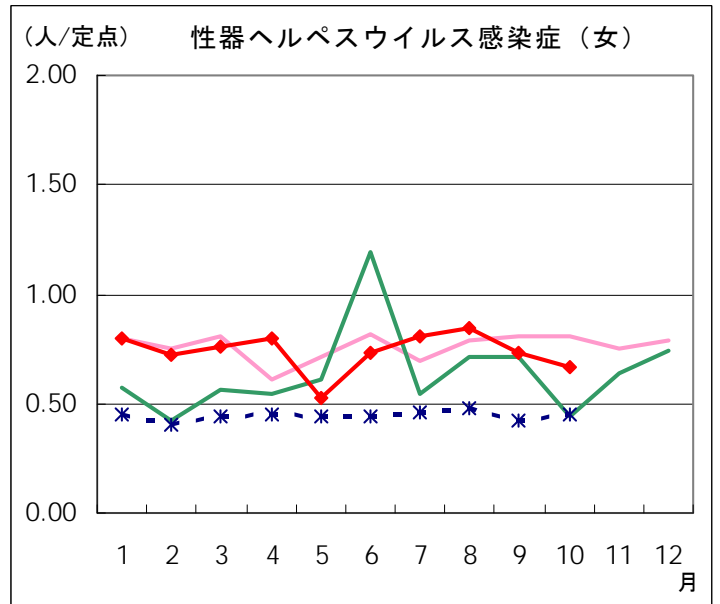
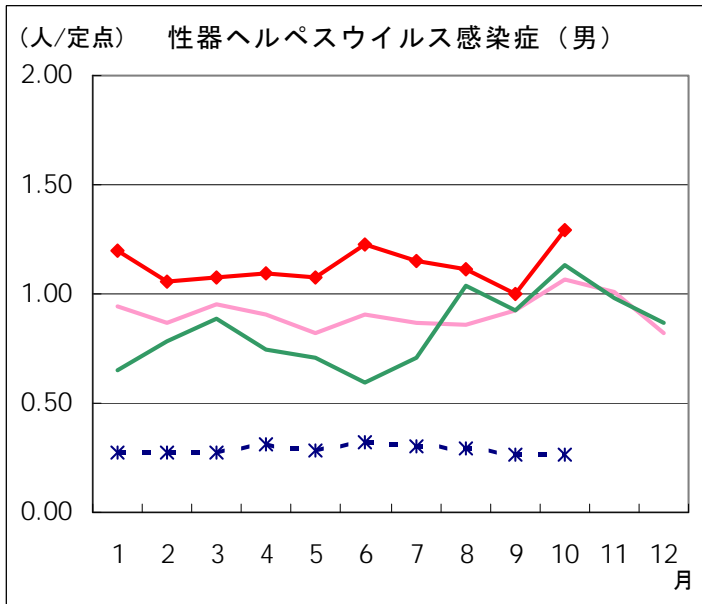
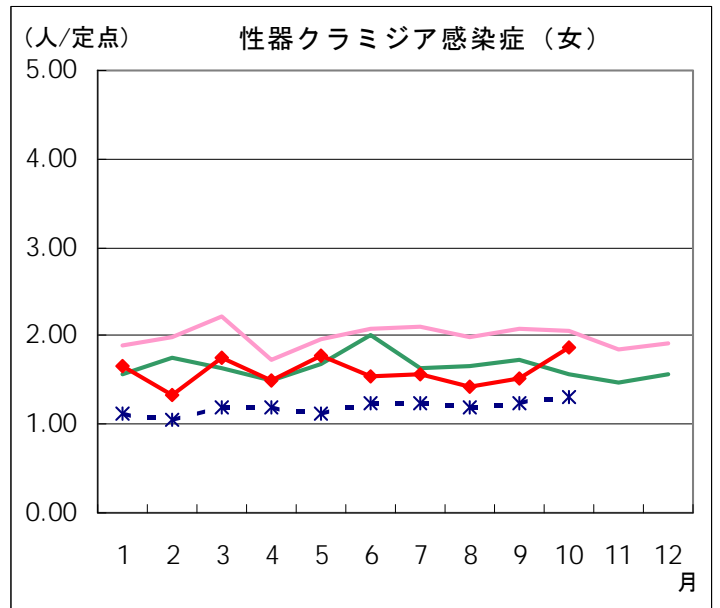
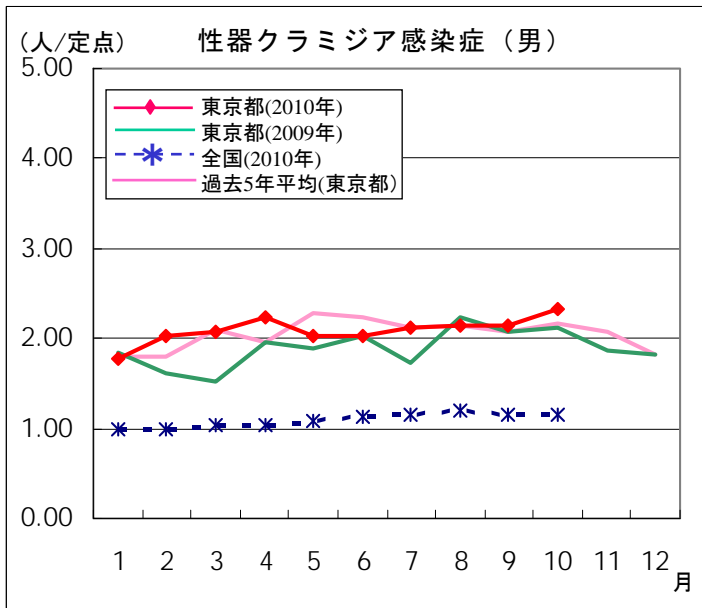
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2010年10月

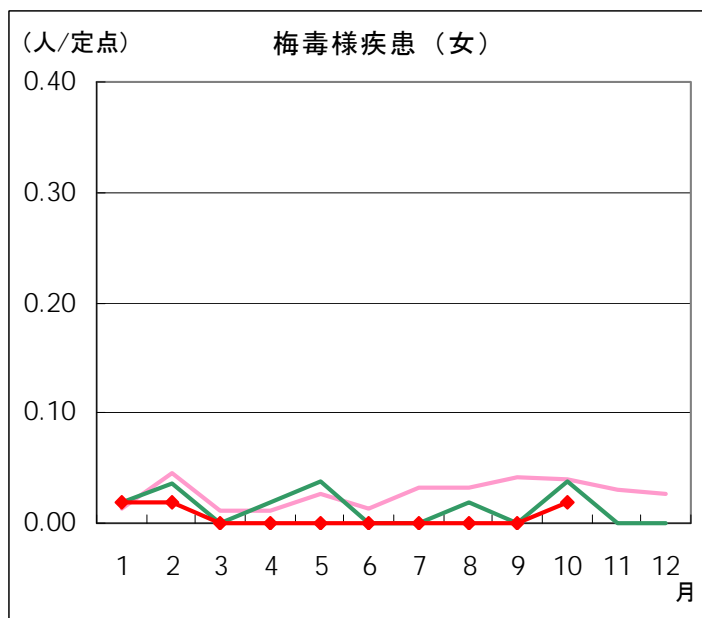
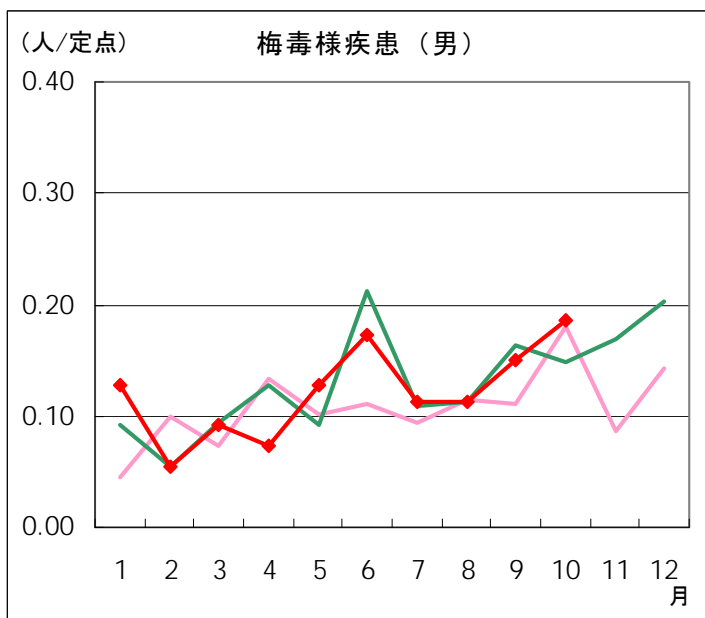
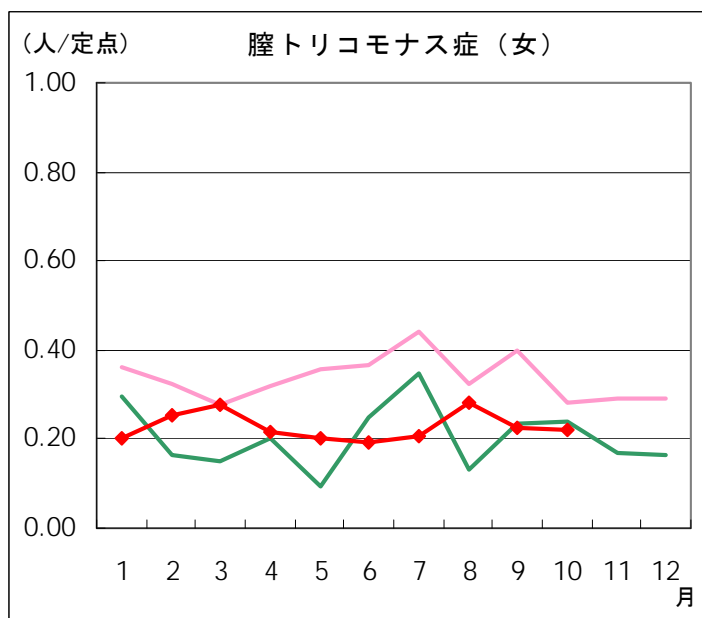
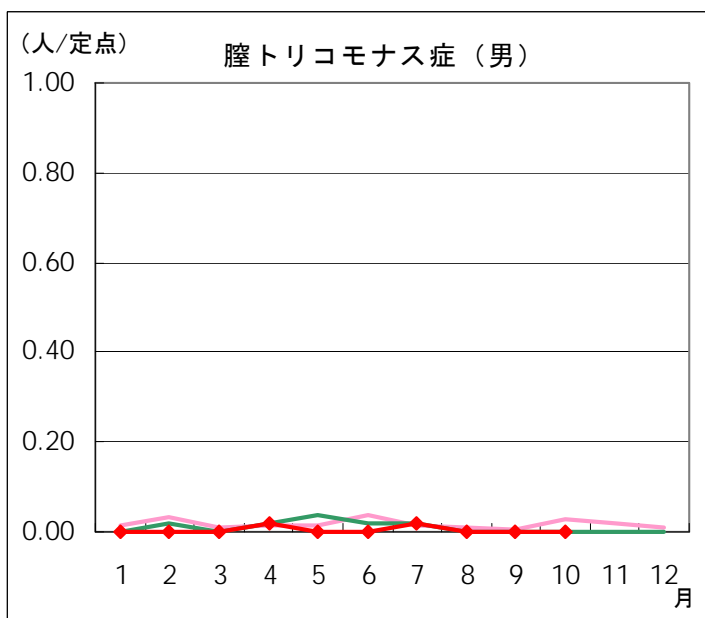
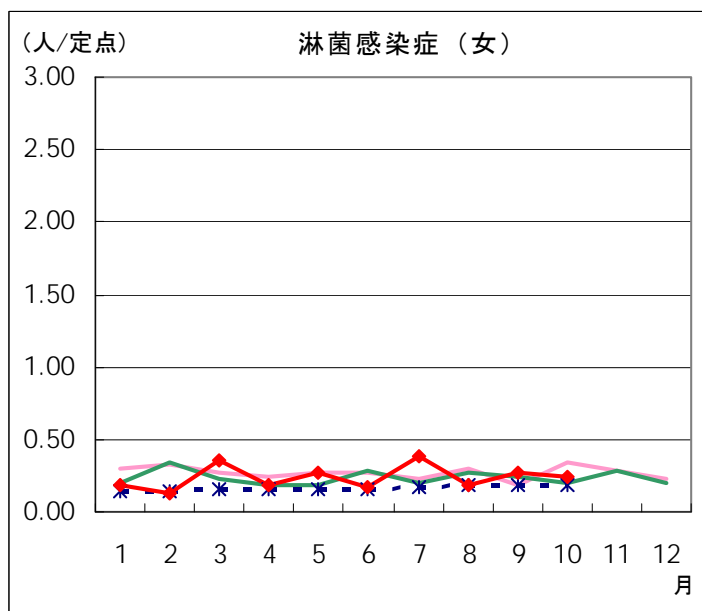
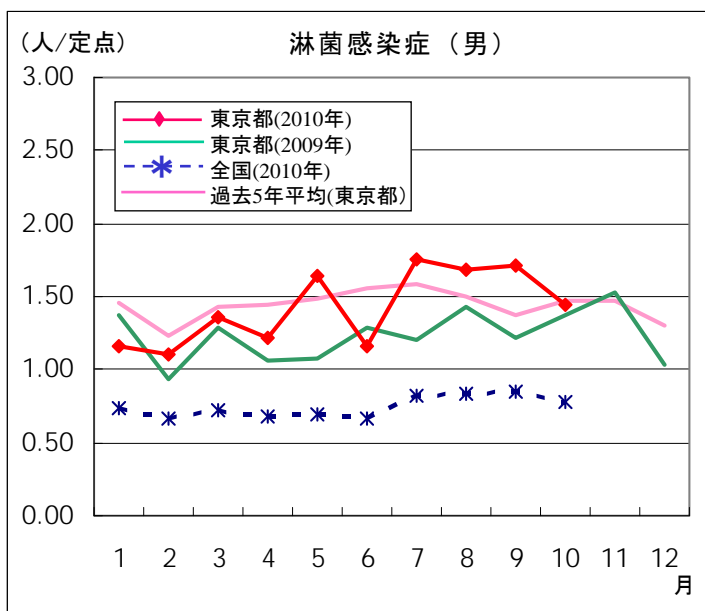
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	16	2	3	8		
中央区	3	5	2	1	2		
みなと	2	9	29	8	9		
新宿区	7	31	19	27	20		7
文京	1	7	1	1	4		
台東	2						
墨田区	2	1			1		
江東区	2	12	3	2	4		
品川区	1	1		2	2		
大田区	2	1			1		
渋谷区	5	9	5		4		1
中野区	2	3	1		5		1
杉並	1						
池袋	3	19	6	5	8		1
北区	1			1			
荒川区	1						
板橋区	2	2	1	1	3		
足立	2	4			4		
江戸川	2	3	1	1	2		
八王子市	4	1					
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	2			1		
多摩小平	1						
合 計	54	126	70	52	78		10
定点当たり		2.33	1.30	0.96	1.44		0.19

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	4					
中央区	3	1		1			
みなと	2	7	6	2			
新宿区	7	10	7	12	6	2	
文京	1						
台東	2	4	1				
墨田区	2			1	1	1	
江東区	2	2	3		1		
品川区	1						
大田区	2	5					
渋谷区	5	5	7		1		1
中野区	2	1		1		1	
杉並	1	1				1	
池袋	3	11	3	2	1	2	
北区	1						
荒川区	1	1	1		1		
板橋区	2	3	3				
足立	2						
江戸川	2	9					
八王子市	4	20	3			1	
町田	1	3	1				
多摩立川	2	14	1	3	2	4	
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	54	101	36	22	13	12	1
定点当たり		1.87	0.67	0.41	0.24	0.22	0.02

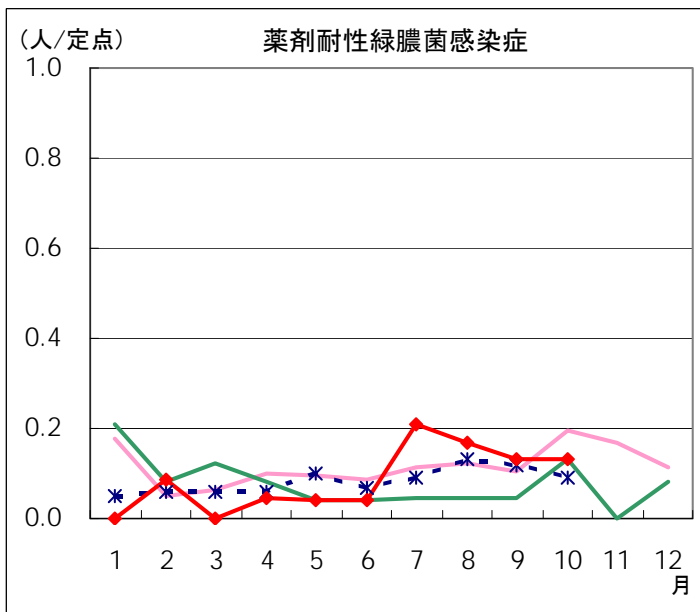
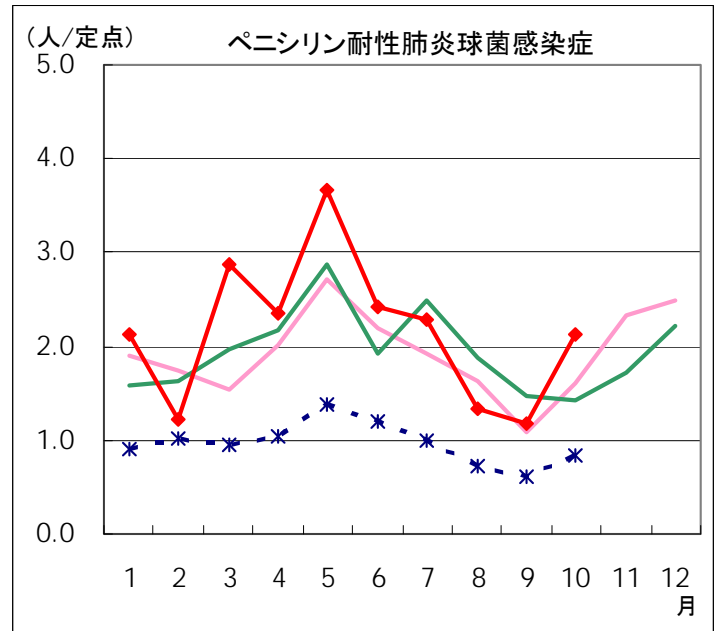
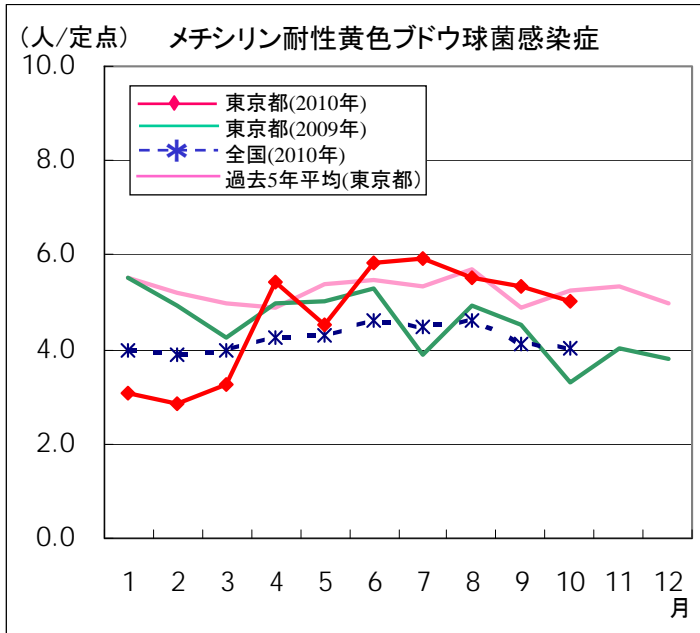
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2010年10月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
10/4	淋菌性尿道炎	35	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
10/4	淋菌性尿道炎	60	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
10/5	尖圭コンジローマ	26	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	
10/7	陰茎ヘルペス疑い	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
10/12	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
10/12	陰茎ヘルペス疑い	78	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
10/13	陰茎コンジローマ	46	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス11型	
10/14	尿道炎	35	男	尿	クラミジア	
10/21	尿道炎	45	男	尿	クラミジア	
10/21	尿道炎	49	男	尿	クラミジア	
10/21	尿道炎	62	男	尿	クラミジア	
10/22	クラミジア膣炎	21	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子 分離同定
10/25	淋菌性尿道炎	39	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	
10/25	尿道炎	24	男	尿	クラミジア	遺伝子
10/28	尿道炎	71	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定